

子供が安心して学べる学校

いじめを許さない学校

思いやり溢れる学校

基本方針

- *本校の学校教育目標である「笑顔あふれる学校」を達成する手立てとして、人権尊重と思いやりを基に、“いじめはどの学級でもおこりうる”という危機感をもち、深く、鋭く、温かな子ども理解・支援に努める。
- *学校、地域、家庭、関係機関が一体となり、いじめ問題の理解を深め、相互に密に連携する。
- *児童支援部を中心に、ピア・サポート活動に学校全体で取り組み、ピア・サポートへの子供たちの意識を高める。

【未然防止】

- *「あたたかく聴く」、「やさしく話す」が、授業や学校生活全般に、温かな人間関係を構築するという認識の下、指導にあたる。
 - *“いじめは絶対に許されない”という認識を教師と子供が共に育み、徹底する。
 - *教育活動全体を通し、子供の自己実現を図り、他者の役に立っていると思える機会を設定し、自己肯定感、自己有用感を高める。
 - *ピア・サポート活動の充実に努める。
- 昨年度の取り組みの評価 —
- ・「ピア・サポート」の具体について教員間で情報を共有し、多様な表れを価値付けられた。ピア・サポート研修の情報伝達などを通して、教員の指導力をよりいっそう高めていく。
 - ・学校生活アンケートでは、「自分には良いところがある。」と答えた子供は88.8%に増加し、良いところがないと回答した子供の数も減少した。数値目標90%を目指し、更に自己肯定感を高める指導を継続していく。

【早期発見】

- *年3回(7月、10月、12月)学校生活やいじめに関するアンケートを実施し、全職員で情報交換を行う。
 - *子供の表れについて、全職員で情報交換のできる場と時間をもつ。(夕打ち)
 - *保護者との連携を深めるために、子供全員を対象に教育相談を行う(夏季休業中)。随時、保護者からの相談に応じ、適切に対応する。
 - *スクールカウンセラーを積極的に活用する。
- 昨年度の取り組みの評価 —
- ・アンケートや日常的な見取りにより、事態が深刻化する前に把握し、対応することができた事例が多くあった。
 - ・保護者からの訴えで判明した事例もあった。いじめへの危機意識や子どもを見守る体制の強化に努める。
 - ・教室外で、言葉にできない自分の思いを不適切な言動で表現する子供も多く見られた。児童支援部を中心とした支援体制を見直し、全職員による確認および指導体制を構築していく。

【早期対応】

- *いじめを認知した時は、その子供とじっくり面談し、味方となり支えることを約束する。また、速やかに事実確認を行い、いじめを止めると共に、再発防止に向けて組織で対応する。
 - *必要に応じ、ケース会議等を実施し、関係機関に連絡する。
 - *いじめに至った原因を踏まえ、継続的に指導・支援を行う。
 - *保護者の協力を得ながら、連携して対応する。
- 昨年度の取り組みの評価 —
- ・子供たちへのアンケートに基づき、聞き取りと事実確認を早期に行い、迅速な対応を心掛けることができた。
 - ・学年主任を中心に複数の職員が連携し、迅速かつ組織的な対応ができた。
 - ・情報の伝達が上手くできていなかった部分もあった。各学年部と生徒指導主任、管理職、養護教諭、支援員などへの連絡体制を確認し、強固なものにする。

【PTAや地域との連携】

- *学校運営協議会で、子供の状況について話し合い、地域で子供を育てる気運を高める。
- *民生委員・主任児童委員と連携し、いじめや家庭環境等についての情報交換を行う。
- *必要に応じ、学級懇談会等でも、いじめについて保護者と話し合う機会を設ける。

【児童生徒が自ら考える場・機会の設定】

- *道徳や学級活動の時間に、いじめについて考える機会を設ける。
- *人間関係づくりプログラムやソーシャルスキルトレーニング等を計画的に行い、子供が人間関係を改善する力を育むための開発的、予防的な取り組みを行う。
- *ピア・サポートについて、考え、実践する機会や場を積極的に設ける。

【いじめ対策委員会】

- 委員
- 校長・教頭・主幹教諭・生徒指導主任
 - 学年主任・学級担任・養護教諭
 - 特別支援Co、SC、SSW、
 - PTA会長・地域代表者
 - その他(必要に応じ、加える)

【職員研修・指導体制】

- 【取組等の点検】
- *定期的な児童支援部会で各学年の状況について話し合い、学校生活の様子や取り組みの方向性、指導の重点等について確認を行う。
 - *「生徒指導提要」「県版いじめ対応マニュアル」を活用し、職員の研修を行う。
 - *「子供を語る会」を実施し、学級の状況や児童の実態について全職員で共通理解を図る。
 - *事例研究やスクールカウンセラーの講義を聴くなどして、児童理解のスキルアップに努める。

【関係機関との連携】

学校と関係機関が、それぞれの役割を果たしつつ、相互に補完し合い、一体となった取り組みを行う。